

2023 年度教育本部の活動にあたって

今からさかのぼること 60 年前の 1962 年、イタリア・モンテポンドーネで開催された第 6 回国際スキー教育会議（インタースキー）に日本から柴田信一氏（元 S A J 基礎教育部長・小樽出身）、中沢 清氏、西山実幾氏、大熊勝朗氏の 4 名が初めて派遣参加しております。

その後、1965 年オーストリア・バドガスタインで開催された第 7 回インタースキーでは、日本から初めてデモンストレーター 5 名を含む 10 名が参加しております。

本年度は、フィンランド・レヴィにおいて第 22 回インタースキーの開催を迎えるシーズンでもあり、あらためて世界が平和で安全であることを祈るばかりです。

～ お 礼 ～

昨シーズン教育本部は、3 年目を迎える S A J 会員登録システム（シクミネット）を従来の加盟団体様による代理入力から個人入力に切り替えることにいたしました。

また、本連盟は、長年スキー及びスノーボードの指導者研修会毎年受講の奨励を行ってまいりましたが、昨年度より S A J の規程どおり「2 年に一度の参加」に改めました。これら二点につきまして、教育本部として大きく舵を切ったシーズンでもありました。

S A J 会員登録やイベント登録等につきましては、教育本部の組織内に「シクミネット対策特別委員会」を設置し、各種サポートやマニュアル作りを行いました。お陰様で、加盟団体様をはじめ指導者の皆様のご理解とご協力をいただき、これらの課題解消を成し遂げる為の産みの苦しみを乗り越えることができましたことに深く御礼を申し上げます。

また、本年 1 月から道内は、再びコロナ感染者が増加となり「まん延防止等重点措置」が発令され、本連盟の全ての大会・検定会などの事業の実施が危ぶまれましたが、全役員に抗原検査を実施し、安全な事業運営に取り組んだ結果、昨年度予定されておりました事業につきましては無事終えることができております。

さらには、S A J から委託最終回大会（第 4 回～第 6 回）の「第 6 回全日本ジュニアスキー技術選手権大会」がコロナ禍の中ではありましたが、ルスツリゾートスキー場において、前回大会より 54 名多い総勢 329 名の参加を全国からいただき、盛会裏に終えることができました。

特に、本大会にご後援いただきました北海道・北海道教育委員会・留寿都村・北海道索道協会、ご協賛・ご支援くださいましたルスツリゾート様はじめ O S 各社様や多くのサポーター・関係者の皆様に心より感謝と御礼を申し上げます。

～ さらなる前進へ ～

■教育本部メモ（青本）について

本年度、S A J では従来出版社による教育本部オフィシャルブックを制作しておりましたが、製作費の高騰などの諸事情により、この度、廃止することとなりました。

このことにより、教育本部メモ（青本）に掲載しておりました S A J オフィシャルブックページが無くなることやオフィシャルブック同様に製作費の高騰などから道連教育本部においても教育本部メモ（青本）のあり方について慎重に検討を重ねてまいりましたが、本年度か

ら廃止することにいたしました。

なお、従来の教育本部メモにあった事業内容等の情報は、今後、道連HP及びシクミネットなどを活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、本年度SAJでは、オフィシャルブック廃止に伴う対応として、SAJ制作の研修課題に関する誌面を無料配布いたしますとともに、研修会理論eラーニングの導入により映像配信される予定であります。

■指導者研修会等の参加料について

2021年度では、スキー・スノーボード指導員研修会及びスキーパトロール研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により道内全ての研修会を中止に致しました。

ただし、資格の維持につきましては、SAJ特例措置により参加申込者は研修会修了扱いとはなっておりますが、教育本部としましては、この度の研修会中止に伴う参加料の扱いについて返金を含めて検討を行ってまいりました。

結果、本年度(2023年度)、次年度(2024年度)の2カ年に限って、スキー・スノーボード指導員研修会及びスキーパトロール研修会の参加料を少額ではありますが減額といたします。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

なお、検定員クリニック料につきましてSAJ規程では4,000円(現在道連では3,000円を徴収)であることが判明いたしましたので、2025年度(令和7年度)から正規料金4,000円を徴収致しますこと併せてお知らせいたします。

■技術員の強化について

今も昔も憧れる指導者像は、何といたっても技術レベルの高い指導者と思われれます。この実現のためにも、まずは教育本部技術員の技術は勿論、資質・能力の強化に力を注いでまいります。このことが結果として、個々の指導者の技術向上に繋がることになり、新たなスノースポーツ指導者の発掘にも期待が寄せられるとの考えからです。

併せて、準指導員検定員強化講習会の単独開催を行い、更なる検定員としての検定種目要領、評価の観点等への理解を深めるとともに技術強化を図ってまいります。

■全日本ジュニアスキー技術選手権大会について

教育本部は、第1回から第6回まで「全日本ジュニアスキー技術選手権大会」をSAJから委託され、各回大会を盛会裏に終えることに全力を注いでまいりました。

過日、SAJから第7回(2023年度)・第8回(2024年度)全日本ジュニアスキー大会開催地の公募があり、道連として開催地への応募申請を行い、SAJより北海道開催の決定通知が届いております。

我々は、ジュニアの育成こそが未来のスノースポーツ界の隆盛に繋がるものと固く信じておりますので、今まで以上に教育本部一丸となって本大会の成功を導くよう取り組んでまいります。

引き続き皆様お一人おひとりのご理解とご支援のほどよろしくお願いいたします。

今後も新型コロナウイルスとは共存を図りつつ、一層の予防対策に努めながら安全で楽しいスノースポーツのシーズンでありますこと心よりご祈念申し上げます。 シーハイル!!

＜専門委員会＞

【基本方針】

SAJの動向を把握しながら、正確な情報を適宜北海道スキー連盟教育本部に提供していく。指導者研修会については、参加者にとって魅力ある研修会とするため、実技担当講師の発信力と師範力の向上が求められることから、実技担当講師への情報提供に努める。今年度も理論研修についてはSAJ制作のeラーニングを視聴することとなるが、実技研修の中でも理論の理解がより深化できるようカリキュラムを工夫したい。また、ここ数年研修会当日に全体デモンストレーションを実施することで参加者は研修内容の全体の流れについて理解を深めることが出来ている。一方で実技担当講師は全体デモンストレーションを実施することで緊張感を持ちながら研修会に臨むことが出来ており、結果として参加する側と実技担当講師の双方にとって有意義な研修会となっていることから全体デモンストレーションの更なる向上を目指す。

専門委員は多くの事業において主任講師や主任検定員をはじめ、現場で責任ある立場となるが、事業成功に向けて邁進することはもとより、次の連盟を担う人材の育成にも配慮しなければならない。そのためには、各事業でのかかわりの中でどの役職であれ、携わる全員が力を合わせて事業推進できる環境を作るとともに、みんなで達成感、成就感を共有できるよう配慮することが重要である。専門委員としての専門性が重要なのは言うまでもないが、俯瞰的な視点を持つこともまた重要と考える。

最後に、いまだ新型コロナの終息が見通せず、2023年度シーズンも不確実性を孕んだものとなるが、SAJ専門委員としての自覚と責任を持ち、それぞれのカテゴリーに属する技術に対する専門性を発揮するとともに、あらゆる方面の情報収集に努め、北海道スキー連盟教育本部の事業の成功とさらなる充実に貢献して行きたい。

[任務]

1. 全日本スキー連盟に関する情報の収集及び伝達に関すること。
 - (1) SAJ各種会議等の報告・伝達。
 - (2) SAJの動向に関する報告・伝達。
2. 指導者研修課題(テーマ)に関すること。
 - (1) SAJ指導者研修課題(テーマ)の伝達。
3. 各種研修会・講習会に関すること。
 - (1) 北海道ブロック研修会の全体日程、理論・実技研修の企画立案と運営。
 - (2) 夏季研修会の全体日程と研修内容の企画立案。
 - (3) 指導者研修会(実技)の企画立案と運営。
 - (4) 加盟団体養成担当者講習会の研修内容の企画立案と運営。
 - (5) 技術員、準指導員検定会等検定員の強化
 - (6) その他各部からの要請対応。
4. デモンストレーターに関すること。
 - (1) デモンストレーターの育成・派遣。
 - (2) SAHデモンストレーター選考会の運営。
5. その他
 - (1) スノースポーツの活性化。
 - (2) 技術・指導法等の調査研究並びに提案。
 - (3) その他、専門的な事項。
 - (4) 中央研修会開催地区としての協力
 - (5) 全日本ジュニアスキー技術選手権大会の事業成功を目指す。

<企画部>

【基本方針】

教育本部規程及び内規に示す事項を所管するとともに、会議の開催などの各事業を遂行する。また、道連教育本部事業の円滑な運営と各部間の連絡調整を図るとともに、事業予算の適正な執行と経理事務の万全に努める。

さらに、広報活動を通じて、各種行事の情報を会員に周知するとともに、スノースポーツの振興に貢献する。

【任務】

1. 各部の事業計画と予算を集約、教育本部の年間事業計画の作成及び整理。
2. 教育本部メモの編集。
3. 教育本部研修会の円滑な運営。
4. 教育本部理事会、合同会議、統括部長会議の準備。
5. 有資格者登録の実施、会員の把握。
6. スノースポーツ振興のための広報活動の展開。
7. 道連事務局との連携による、SAJ 報告等の円滑な処理。
8. 会計報告、事業報告等の精査の徹底と事業会計の適切な執行。
9. 教育本部理事会に係わる事務処理。
10. 企画部事業計画、予算案の立案と活動報告の作成。
11. 教育本部内規の整理。

【活動内容】

1. 教育本部所管の事業計画及び予算作成に関すること。
2. 年次登録業務に関すること。
3. 教育本部の会議及び各部・各委員会の連絡調整に関すること。
4. 教育本部担当理事会に関わる庶務事項の処理に関すること。
5. 業務報告書の作成に関すること。
6. SAJ からの通知等の処理に関すること。
7. SAJ への報告等の処理に関すること。
8. 他の事項に属さない庶務に関すること。
9. 教育本部所管の予算執行に関すること。
10. 教育本部予算・決算の資料収集及び原案の作成に関すること。
11. 支出伺いの点検及び適正な予算執行に関すること。
12. 教育本部所属会員の管理登録に関すること。
13. 教育本部諸事業の IT 関連作業(支援も含む)に関すること。
14. その他、教育本部データ、予算に関すること。
15. 事業実施要領の編集とホームページ掲載に関すること。
16. 教育本部情報の告知及び広報活動に関すること。

＜研修部＞

【基本方針】

教育本部会議・研修会（冬季・夏季）と一般指導者研修会の事業計画の策定及び企画・運営を行う。

また、指導者に教育本部の研修課題を周知すると共に、公認検定員が検定に関する専門的な評価能力の向上を目指す。

【任務】

1. 教育本部会議・研修会（冬季・夏季）の準備・運営
 - (1) 参加者のとりまとめ
 - (2) 教育本部会議の企画・進行
 - (3) 雪上研修会の運営
2. 一般指導者研修会・公認検定員クリニックの運営
 - (1) 参加者のとりまとめ
 - (2) 総務主任へ参加者データの提供
 - (3) シクミネットへの研修修了結果の投入
 - (4) 各地区ブロックと次年度研修会場の調整

※ 開催地の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、政府や各自治体等から示されている感染防止のガイドライン等に留意し開催する。

また、感染状況によっては変更・中止することがある。

【活動内容】

1. 教育本部会議・研修会（冬季・夏季）
2. 一般指導者研修会・公認検定員クリニック
 - (1) 理論:e ラーニングで実施
 - (2) 実技:16 会場で実施
3. 特別オプション研修会
 - (1) SAH 登録スキー学校教師研修会
 - * スキー学校部所管事業
 - (2) SAH スキー大学
 - * 強化部所管事業

<検定部>

【基本方針】

SAJ 公認スキー指導員・SAJ 公認スキー準指導員・SAH 認定スキー指導員を育成強化することによりスキー人口の拡大を目指す。また、スキー指導と評価の一体化を図るため SAJ 公認スキー検定員の育成強化を目指す。

各加盟団体・スキー学校と連携しスキーヤーの指導者検定への意欲醸成を行うとともに、SAJ 公認スキー指導者検定規程・SAJ 公認スキー検定員規程に基づいた検定会の企画・運営・登録を実施する。

【任務】

1. SAJ 公認スキー準指導員検定 イベント登録・受付・集計・合格者登録及び検定会運営
2. SAH 認定スキー指導員検定 受付・集計・合格者登録及び検定会運営
3. SAJ 公認スキー検定員検定 イベント登録・受付・集計・合格者登録及び検定会運営
4. SAJ 公認スキー準指導員検定検定員事前研修会及び加盟団体養成担当者強化講習会 受付・講習会運営
5. SAJ 公認スキー指導員検定養成講習会(中央会場) 受付・講習会運営

【活動内容】

各検定会講習会の申込はシクミネット・デジエントリーでの申込み受付で実施し合格等の手続きも同様とする。(一部に用紙での手続きあり)

1. SAJ 公認スキー準指導員検定会(南会場・北会場)
 - (1) 検定会内容の周知及び受検者募集(加盟団体教育担当者と連携)
 - (2) 受検申込者の申込整理及び受検者への受検手順案内
 - (3) 検定会の開催及び運営
 - (4) 合格者の登録作業及び合格者養成講習会・C 級検定会の受付から運営
2. SAH 認定スキー指導員検定会
 - (1) 検定会内容の周知及び受検者募集(加盟団体教育担当者・スキー学校担当者と連携)
 - (2) 受検申込者の申込整理及び受検者への受検手順案内
 - (3) 検定会の開催及び運営
 - (4) 合格者の登録作業(加盟団体教育担当者・スキー学校担当者と連携)
3. BC 級検定員検定会
 - (1) 検定会内容の周知及び受検者募集(加盟団体教育担当者と連携)
 - (2) 受検申込者の申込整理及び受検者への受検手順案内
 - (3) 検定会の開催及び運営
 - (4) 合格者の登録作業
4. SAJ 公認スキー準指導員検定 検定員事前研修会及び加盟団体養成担当者強化講習会
 - (1) 講習会内容の周知及び受講者募集(加盟団体教育担当者と連携)
 - (2) 講習申込者の受付申込整理
 - (3) 講習会の開催及び運営
 - (4) 受講完了者の加盟団体周知
5. SAJ 公認スキー指導員検定養成講習会(中央会場)
 - (1) 講習希望者の受付申込整理
 - (2) 講習会の開催及び運営
 - (3) 受講完了者の加盟団体周知

<強化部>

【基本方針】

全日本スキー技術選手権大会における男子総合優勝連覇に加えアベック優勝を最大目標とし、スーパーファイナル進出者及びナショナルデモンストレーター認定者の増加を目指す。その為に2023年度においても、より効率的で効果的な育成強化に取り組む。キャリアの対応力、若手の勢い、新戦力の可能性に的確なコーチングを加えたチームシナジーにより昨年以上に強固なチーム力の向上に努める。

近年、北海道選手は若年化が進み選手層がより一層厚みを増している。一方で経験不足による状況対応力の低さも否めないことから、ジュニア育成内容の見直しを図り計画的強化を推進する。

また各種大会や事業を通して時代背景にマッチした運営を思案し、スピード感をもって実行に移していくことでスキー発展に貢献していきたいと考えている。

【任務】

1. 選手育成強化

- (1) 全日本スキー技術選手権大会及びナショナルデモンストレーター選考会において、優秀な成績を収めることができるように、強化指定選手を計画的に強化する。
- (2) 強化指定選手の意識改革を図り、進化する技術への対応能力を高める。
- (3) スキー技術の研鑽と同時に、社会人としての豊かな人間性の向上を目指し、指導者として模範と成り得る人材の育成に努める。

2. ジュニアの育成強化

- (1) 将来を見据え、技術選・デモンストレーターを目指すジュニア層の計画的な育成強化に努める。
- (2) 事業を通じてデモンストレーターとの接触機会を築き、夢や希望を与えることにより、スノースポーツ・技術選への誘導、ジュニア大会の更なる活性化を図る。
- (3) 競技本部との連携を推進し、若年層を絶えず拡充するため積極的な働きかけを行なう。

3. 革新的技術のリーダーシップ

- (1) アルペントップレーサーの技術とトップデモとの技術の融合化について継続して追求・分析を行なう。
- (2) 発展するスキー技術の研究・理論構築を行なうほか、育成強化に対する課題・方向性の共有化に努める。
- (3) ジャッジングの正当性を追求するため評価基準を明確に定め、検証された情報の発信を行なう。

<振興部>

【基本方針】

キッズ、ジュニアからシニアまでの男女を含めた幅広い年齢層を対象とした事業活動を通して、北海道におけるスキー活動の普及発展に努める。

【任務】

1. マスターズ振興活動

マスターズスキー技術選手権大会の内容充実と参加者増加の促進。

- (1) シニアスキーヤーの普及・発展に努める。
- (2) 北海道マスターズスキー技術選手権大会の企画・運営。

2. ジュニア振興活動。

ジュニアスキー技術選手権決勝大会の内容充実と円滑な運営及び大会の充実。

- (1) スキー界の次世代を担うジュニア普及振興に努める。
- (2) 北海道ジュニアスキー技術選手権決勝大会の企画・運営及び各ブロック大会への協力。

3. レディス振興活動

レディスエレガントスキー大会でのパフォーマンス発表の場としての内容充実。

- (1) 女性スキーヤーの活動の普及発展、技術の向上に努める。
- (2) レディスエレガントスキー大会の企画・運営。

<スキー学校部>

【基本方針】

2023年度の北海道スキー連盟教育本部活動方針に基づき、公認・登録スキー学校の活動の充実と規約・規程の順守を重点目標とし、主任教師研修会等によりスキー教師の資質の向上を図るとともに、校長会議を通してスキー学校の適正運営についての的確な情報提供と指導・助言を行い公認スキー学校の充実を図る。また、SAJ設置規程等及びSAH登録規程を順守し、円滑な登録業務を行うとともに、プライズテストに関する加盟団体・公認スキー学校との連携も行い、北海道スキー学校協会の事業計画の企画・立案に協力し、緊密な連携を図る。

【任務】

1. スキー学校の円滑かつ適正な運営を図るためSAJの諸規約・規程ならびにSAHスキー学校登録規程の順守の指導と的確な情報提供。

- (1) 公認スキー学校の事務処理運営。
- (2) 公認スキー学校に関するSAJへの連絡・報告。

2. スキー学校の活性化及び充実を図るための主任教師研修会・教師研修会等の立案と指導者の資質と技術の向上。

- (1) 公認スキー学校に関わる研修会の企画・立案。

3. 加盟団体・公認スキー学校とのプライズテストに関する業務。

- (1) クラウンプライズテストの実施・開催地の調整。
・加盟団体への委託と事業報告の審査、事業報告書の集約。
- (2) テクニカルプライズテストの集約並びに開催公認スキー学校との調整。
・スキー学校への委託と報告書の審査、事業報告書の集約。
- (3) 級別テスト・ジュニアテストの実施、運営指導。
・開催届、報告書の審査、事業報告書の集約。

4. 北海道スキー学校協会の事業への協力と連携。

5. スノースポーツ愛好者の増加を図るための関連事業への積極的な参加。

＜スノーボード部＞

【基本方針】

2023年度教育本部活動方針を基本とし、教育本部規程及び内規に規定されているスノーボードに関する事項について所管し、各事業の円滑な運営に努めると共に、子供から高齢者まで楽しめるスノースポーツとなるよう多様な活動の推進に取り組む。

業務の効率化を計る為、デジタル化への取り組み(シクミネット等を活用した登録等)を引続き実施する。

【任務】

1. 総務

- (1) スノーボード部の企画運営に関すること。
- (2) 地域におけるスノーボードの普及・振興に関すること。
- (3) その他、スノーボード部の庶務事項に関すること。

2. 研修

- (1) スノーボード指導者研修会の企画・運営に関すること。

3. 検定

- (1) 認定スノーボード指導員検定会の運営に関すること。
- (2) 認定スノーボード指導員養成講習会に関すること。
- (3) スノーボード準指導員検定会の運営に関すること。
- (4) スノーボード準指導員養成講習会に関すること。
- (5) スノーボード指導員養成講習会に関すること。
- (6) スノーボード検定員検定会の運営に関すること。

4. 強化

- (1) スノーボード技術選手権大会に関すること。
- (2) スノーボード技術選手権大会出場選手の強化に関すること。
- (3) 強化指定選手の育成・強化に関すること。
- (4) ジュニア層を含めた若手選手の育成及びジュニア大会の活性化に繋がる PR に関すること。

＜安全対策部＞

【基本方針】

雪上での安全を確保することは、楽しいスノースポーツを普及発展するためにもっとも大切なことである。

北海道スキー連盟に所属する公認スキーパトロールとして、スキー場を利用するすべての方から信頼される存在となるために、必要な知識と技術の習得に努め、スキーパトロールの強い連帯感・リーダーシップ・責任感をもって任務を遂行する。

とくに、研修会については、公認スキーパトロール研修会規程の改正により加盟団体主管で実施可能になったことから、道内各地域の特性と要望を踏まえて開催会場や研修内容を検討し、受講者がさらに参加しやすい運営に努めていく。

【任務】

1. 公認スキーパトロール養成講習会Ⅰ・Ⅱの実施
 - (1) 養成講習会(Ⅰ)は、基礎知識の理解と基本技術の習得を図る。
 - (2) 養成講習会(Ⅱ)は、検定種目の理解と技術の確実な習得を図る。
2. 公認スキーパトロール研修会の実施
 - (1) 公認スキーパトロール研修会規程に基づき、開催運営を行なう。
3. 公認スキーパトロール検定会の実施
 - (1) 公認スキーパトロール検定会規程に基づき、開催運営を行なう。
4. スキー・スノーボード傷害調査
 - (1) 北海道内スキー場での事故状況を調査・集計し、安全対策の資料とする。
 - (2) 上記資料を道内スキー場に配布し、安全なスノースポーツに役立てる。
5. 公認功労パトロールの資格審査
6. 各種大会支援